

令和6年度第1回三重県公衆衛生審議会歯科保健推進部会 開催結果

- 1 開催日時 令和6年8月5日（月）13:15～14:45
- 2 委員名簿 別紙のとおり
- 3 出席委員 伊東学会長他12名
- 4 議事
 - (1) 三重県の歯科保健の現状「みえ歯と口腔の健康づくり年次報告（案）」について
 - <事務局説明概要>
 - ・「みえ歯と口腔の健康づくり条例」および「第2次みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づいて、各ライフステージや個別の歯科保健対策に関する歯科保健指導、人材育成研修、啓発等、令和5年度の歯科保健推進事業を実施しました。
 - <委員からの主な意見>
 - ・能登半島地震に歯科医師、歯科衛生士の他歯科技工士も派遣された。
 - ・フッ化物洗口の実施人数は、令和4年度7,500名程度、令和5年度1万人程度と取組の再開など増加しているのはありがたい。
 - <事務局からの回答>
 - ・引き続き取組を推進します。
 - (2) 令和6年度歯科保健推進事業について
 - <事務局説明概要>
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた事業（高齢者施設における口腔ケアや障がい者施設等での講話・歯科保健指導等）を再開します。また、医療的ケア児に対する医科歯科連携を推進していきます。
 - <委員からの主な意見>
 - ・在宅歯科保健医療・医科歯科連携に取り組む歯科診療所も増加していると思うが、それに対しての連携が少ないように感じる。今後の取り組みとして何か県の方で考えていることはあるか。
 - <事務局からの回答>
 - ・医科歯科連携の取組が一層進むよう、引き続き、医科歯科連携に係る会議や医師会・歯科医師会合同の研修会を行いたい。また、在宅歯科保健医療（地域口腔ケアステーション）の案内や医科歯科連携に係る各種啓発リーフレットを配布したい。